

# クリニックレター 2016.7月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック

TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP:<http://www.nishimotoclinic.jp/>  
このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

## 週刊誌(の広告)を信じる前に 知っておいていただきたいこと、 考えていただきたいこと

こここのところ、某週刊誌で、特に生活習慣病のお薬に対するネガティブキャンペーンが毎週毎週繰り返されています。確かに総コレステロールが高い、というだけで、薬を飲んで下げるなどということは、もう、20年以上前から、「違う」ということがわかっています。私は、漢方専門医であるとともに、循環器内科の出身であり、高血圧や高脂血症などの生活習慣病に対しては、自信を持って治療をおこなっています。そこで、患者様にも知っておいていただきたいことを少ないスペースではありますが、書いてみたいと思います。

### Crestol は他の降脂剤に比べて危険な薬でしょうか？

某週刊誌では、一番の槍玉にあがっているのが、コレステロールを下げる薬のひとつである、「Crestol」のようです。当院の患者様でも「Crestol を他の薬に変えていただけませんか？」とおっしゃった方がおられました。

それでは、Crestol は、他のお薬に比べて危険なのでしょうか？

まず、知っておかなければいけない事は、

- ① Crestol は、現在、発売されているコレステロールの薬の中では、コレステロールを下げる力がもっとも強い薬です。
- ② Crestol は、LDL(悪玉)コレステロールを下げるだけでなく、HDL(善玉)コレステロールを上げる！働きがあり、これは、他の薬にはみられない特徴です。

③ 一度心筋梗塞を起こしてしまった人に対して、再発作を予防するためには、ほとんど Crestol が使われています。また、糖尿病や高血圧を合併している方は、心筋梗塞や脳梗塞のリスクが非常に高いため、コレステロールのコントロールを、より厳密にする必要があることから、Crestol が使われることが多いです。また、家族性高コレステロールという遺伝性の疾患の場合も、Crestol を一般の2-3倍量使う必要があります。つまり、Crestol を使う患者さんは、心筋梗塞や脳梗塞のリスクの高い方が多く、そのぶん、併用薬も多く、他にも、さまざまなリスクを抱えている方が多いため、結果として、副作用などの報告も増えてしまう傾向があるのです。けっして、Crestol が悪いわけではないのです。

**Crestol は下げないといけないです。**



運動や食事のコントロールができて、LDL が 140 未満、LDL/HDL 比が 2.0 以下で、糖尿病や高血圧の合併がない方は、まず心配ありません。一方、LDL が 160 以上あり、LDL/HDL 比の高い方、LDL は高くないけど HDL も低い(40 以下)方、喫煙習慣のある方、糖尿病や高血圧がある方、ご家族に心筋梗塞や脳梗塞の方がおられる場合は、決して油断してはいけません。

### 糖尿病はなぜ放置してはいけないのか？

糖尿病の指標として、ヘモグロビン A1c(HbA1C)がありますが、おおまかに言って、70 歳未満の方はなるべく 6.5 以下、70 歳以上の方は 7.0~7.5 以下を目標に治療をする必要があります。なぜなら、糖尿病は、心筋梗塞や脳卒中の原因であり、また、糖尿病を放置することで、将来、透析などのリスクもあるからです。

### 処方された薬は一生飲むのですか？

あなたがなぜ薬を飲む必要があるかを十分理解して飲んでください。血圧の薬などは、「衣替え」のように、夏は血圧が下がるので軽めの薬に変更することもありますし、運動などで状況が変われば、コレステロールの薬も中止できることもあります。

## スギ花粉・ダニによるアレルギー性鼻炎に対する 舌下免疫療法患者様向け説明会

日時：8月6日土曜 14時30分から約1時間

場所：当院1階待合室 参加費：無料

先月号でご紹介しましたように、スギ花粉、ダニによるアレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法について、上記の日程で、説明会を行います。

舌下免疫療法をお勧めする方は次の①~③をすべて満たす方です。

- ① スギ、あるいは、ダニアレルギーによる鼻炎症状のため、日常生活に不便を生じており、抗アレルギー剤や漢方のみでは症状が簡単にはおさまらない方。
- ② 定期的な受診(1ヶ月に1回程度)が可能で、数年(3~5年)にわたって治療を継続できる方。
- ③ 12歳以上の方。(年齢上限に関しては、決まりはありませんが、おおよそ70歳程度までが適応です。)

### お車で来院される患者様へ

歩行者や近隣の方の迷惑になりますので、駐車場の指定されたスペース以外、及び、クリニック周辺の道路には、絶対に車を駐車されないようお願いいたします。駐車場での長時間のアイドリングもお控えください。

### 休診のお知らせ

8月12日(金)13日(土)15日(月)は夏季休診とさせていただきます。  
また、7月2日(土)9月20日(火)9月23日(金)の院長外来は休診です。

クリニックレターのバックナンバーをお読みにになりたい方は、クリニックのホームページをご覧ください。